

平成こども塾9月のプログラム

問 平成こども塾 ☎64-0045

平成こども塾は、小中学生を対象にした、体験を通して地域の暮らしや自然、もの作りについて学べる施設です。詳細は市HP内「こども塾だより8月号」やきずなネットアプリへ。

行事名	日時
①竹と和紙で あんどんを作ろう	時 9月6日(日)10:00～正午 ¥ 500円
和紙に絵を描き、竹で枠組を作ってあんどんを作ろう。	
②栗拾い体験	時 9月20日(日)10:00～正午 ¥ 300円
栗拾いを体験しよう。 ※天候や生育状況により中止となる場合があります。	
③トンボとバッタを 知ろう	時 9月27日(日)10:00～正午 ¥ 200円
里山を散策しながら昆虫などを採集し、その生態や環境を学ぼう。	
対 小・中学生 ①15人②③20人 (応募者多数の場合は抽選)	
申 8月5日(水)までに二次元コードから申込。	



明るい選挙啓発ポスター募集

問 選挙管理委員会(行政課内) ☎56-0605

明るい選挙の呼びかけを題材に、自由に表現したポスターを募集します。入選者には景品があります。詳細は市HPへ。

- 対 市内小中高等学校の児童生徒
- 内 四つ切り・八つ切りの画用紙またはそれに準ずる大きさで画材は自由。デジタル作品可。
- 申 9月11日(金)16:00までに作品を選挙管理委員会(行政課内)に提出。



ドクターからあなたへ

か れい おう はん へん せい 加齢黄斑変性

スズムラ眼科医院 すずむらよしと 鈴木好人

加齢黄斑変性とは、黄斑(カメラに例えるとフィルムにあたる部分が網膜、この網膜の中心で形や色を見分ける重要な部分が黄斑)に起こる異常です。米国をはじめとする欧米先進国において、成人(特に50歳以上)における失明の主要原因です。日本でも、近年の急激な高齢者人口の増加に伴い患者数が増加しています。福岡県久山町で行われた調査によると、50歳以上の住民における加齢黄斑変性の発症率は0.87%で、男性に多いです。また、年齢と比例して増加し、両眼に発症する割合が高くなっていきます。

病名が示すように加齢が主な原因で、遺伝的要素がありますが、遺伝する力は弱く、どの遺伝子の異常

かはまだ判明していません。危険因子には、喫煙、太陽光による酸化ストレス、食生活の偏りが挙げられています。初期症状は、見ようとする部分の直線が歪んだり、中心が暗く見えたりします。病気が進行すると、視力が下がり、色もわからなくなります。その結果、「人の顔が見えない」「読めない」「書けない」状態になります。病気の種類によって1～2年で視力が0.1に下がるという報告もある一方で、進行がゆっくりで「読めない」「書けない」状態になるのに10～20年かかることもあります。おかしいと思ったら、眼科で視力検査、眼底検査を受けましょう。